

# REX-CBS51 Windows95 での導入の手引き

本書は REX-CBS51 を Windows95 上で導入するための手引書です。

導入に際して、以下の注意書きをよくお読みになった上で作業を進めてください。

## 導入に関するご注意

本手引書に記載されているインストール方法に関してのご質問は、弊社では一切お受け致しません。また、導入に際して発生した如何なる問題に対しても、弊社では一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

動作環境（下記条件を満たしていない場合インストールできません）

- ・ PCI および ISA バスを搭載した PC/AT 互換機
- ・ PCI BIOS 2.1 をサポートしている機種
- ・ Windows95 のバージョンが 950B 以降のもの
- ・ REX-CBS51 インストール以前に PC カードスロットを使用していない環境

## インストール方法

### (1) 対応している PCI BIOS の確認

パソコン本体のマニュアル等で、REX-CBS51をインストールしようとしている本体が「PCI BIOS 2.1」に対応しているかどうかを確認します。

自作機の場合は、マザーボードの説明書などをご確認ください。

(PCI BIOS 2.1 に対応していない場合、インストールできません)

### (2) 「IRQ ステアリング」と「IRQ ルーティング」の設定状態確認

「マイコンピュータ」アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、デバイスマネージャ画面を開きます。

図1 「システムのプロパティ」画面

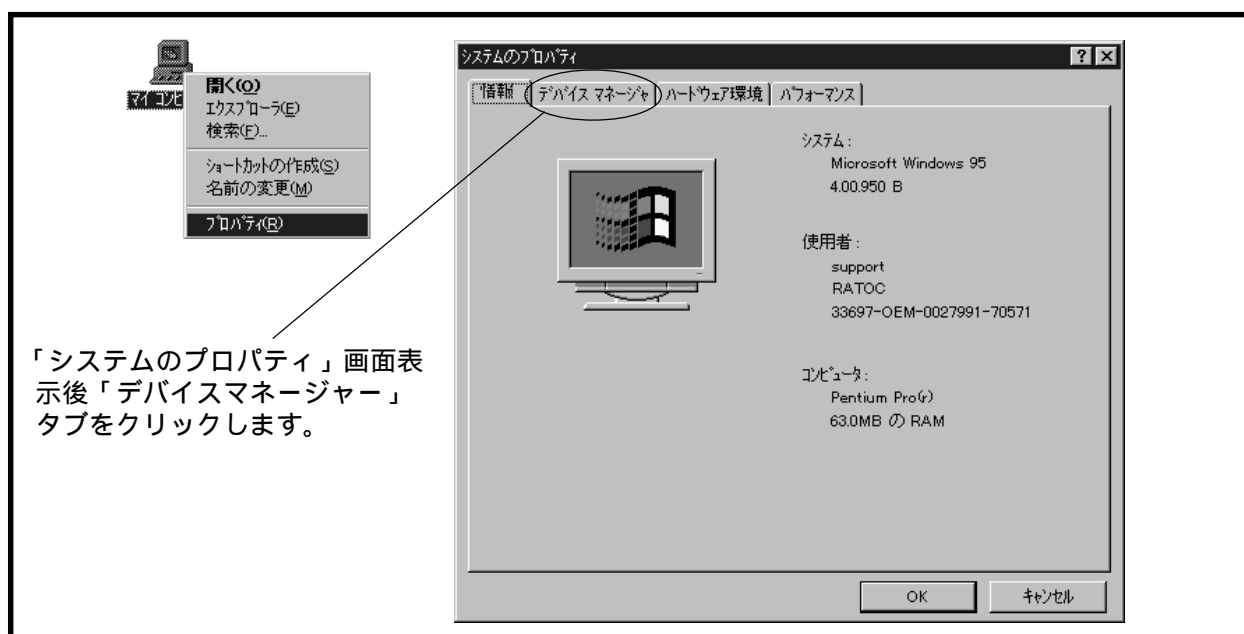




図2 「システムのプロパティ」内の「デバイスマネージャ」項目画面

図2の画面において「システムデバイス」の項目を開きます。次に、図3のようにシステムデバイスの一覧が表示されたら「PCIバス」項目を開きます。



図3 「システムデバイス」一覧表示

「PCIバスのプロパティ」画面内の「IRQステアリング」タブをクリックし、図4の画面を表示させます。

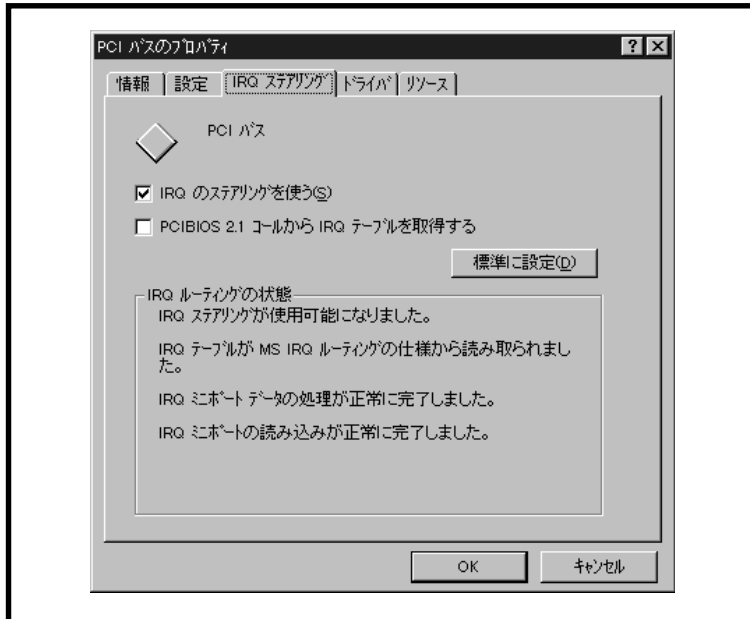


図4 「PCIバスのプロパティ」内「IRQステアリング」設定画面

上記図4では次の項目を確認します。

1. 「IRQのステアリングを使う」項目にチェックマークが入っているか。
2. 「IRQルーティングの状態」テキストボックスの内容を確認し、図4のように「IRQステアリングが使用可能になりました」と表示されていることを確認。

もし、上記(2)が使用可能状態でない場合「PCI BIOS 2.1コールからIRQテーブルを取得する」項目にチェックを入れ、その後「OK」ボタンをクリックし「PCIバスのプロパティ」画面を閉じます。

### (3) INFファイルのコピー作業

下記ファイルのバックアップコピーを作成します。

- ・¥WINDOWS¥INF¥ディレクトリ内の「PCMCIA.INF」ファイル

(4) 「PCMCIA.INF」ファイルの編集作業

「PCMCIA.INF」ファイルをメモ帳などで開き、次の記述行を検索します。

```
[Ricoh]  
;%PCI%VEN_1180&DEV_0466.DeviceDesc%=CARDBUS,PCI%VEN_1180&DEV_0466
```

上記の記述が見つかったら、次のように変更します。

- ・「;%PCI」記述の先頭にある「;」(セミコロン)を削除します。
- ・「DEV\_0466」を「DEV\_0478」へ変更します。(2ヶ所とも)

変更後の記述は下記ようになります。

```
[Ricoh]  
%PCI%VEN_1180&DEV_0478.DeviceDesc%=CARDBUS,PCI%VEN_1180&DEV_0478
```

次に、下記記述行を検索します。

```
PCI%VEN_1180&DEV_0466.DeviceDesc= " Ricoh RLC466 CardBus Controller "
```

上記の記述が見つかったら、次のように変更します。

- ・「DEV\_0466」を「DEV\_0478」へ変更します。
- ・「Ricoh RLC466...」を「Ricoh RL/RB5C478...」へ変更します。

変更後の記述は下記ようになります。

```
PCI%VEN_1180&DEV_0478.DeviceDesc= " Ricoh RL/RB5C478 CardBus Controller "
```

変更した値を保存し、編集を終了します。

ここまでの作業が完了したら、Windowsを終了し、パソコンの電源を落とします。

(5) REX-CBS51 の取り付け

REX-CBS51 のユーザーズマニュアルに従い、REX-CBS51 をパソコン本体に取り付けます。

(6) 電源投入と自動インストールの確認

REX-CBS51 の取り付け作業が完了したら、パソコン本体の電源を投入します。

しばらくすると、「新しいハードウェア...」の画面が表示され、REX-CBS51 関連のインストール作業が自動的に開始されます。

環境によっては、インストール作業中に図5のような警告画面が表示される場合があります。その際は Windows95 の CD-ROM をドライブにセットするか、あるいは Windows95 の圧縮イメージファイルが格納されているディレクトリを指定し、インストール作業を続行します。

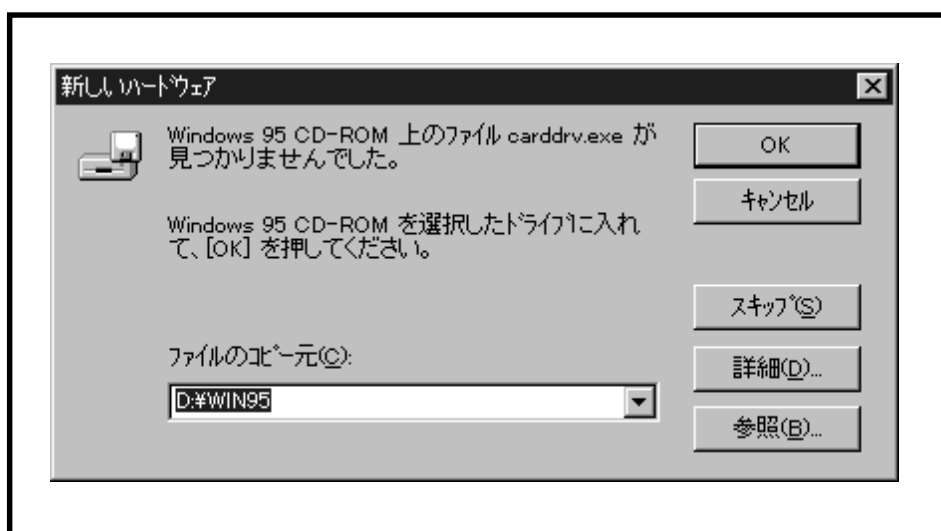


図5 インストールに必要なファイルの要求画面

(7) デバイスマネージャでの状態確認

Windowsによる自動インストール作業が完了したら、デバイスマネージャ画面を開きます。

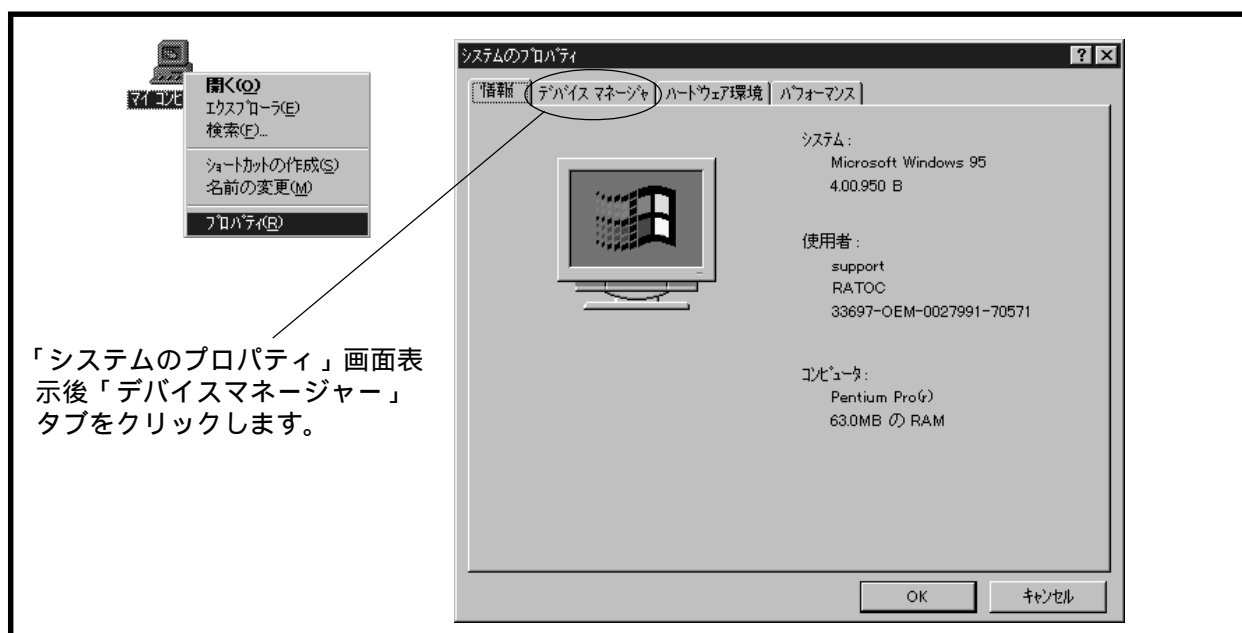


図6 「システムのプロパティ」画面

下記図7の画面で「PCMCIA」項目をオープンし、その下に「Ricoh RL/RB5C478 CardBus Controller」が2つあることを確認した後、さらにその項目をダブルクリックします。



図7 カードバスコントローラ (REX-CBS51) 有無の確認

下記図8のプロパティ画面が表示されたら、「デバイスの使用」覧を確認し「このハードウェア環境で使用不可にする」の部分にチェックされている場合、ここのチェックマークを外し「OK」ボタンをクリックします。

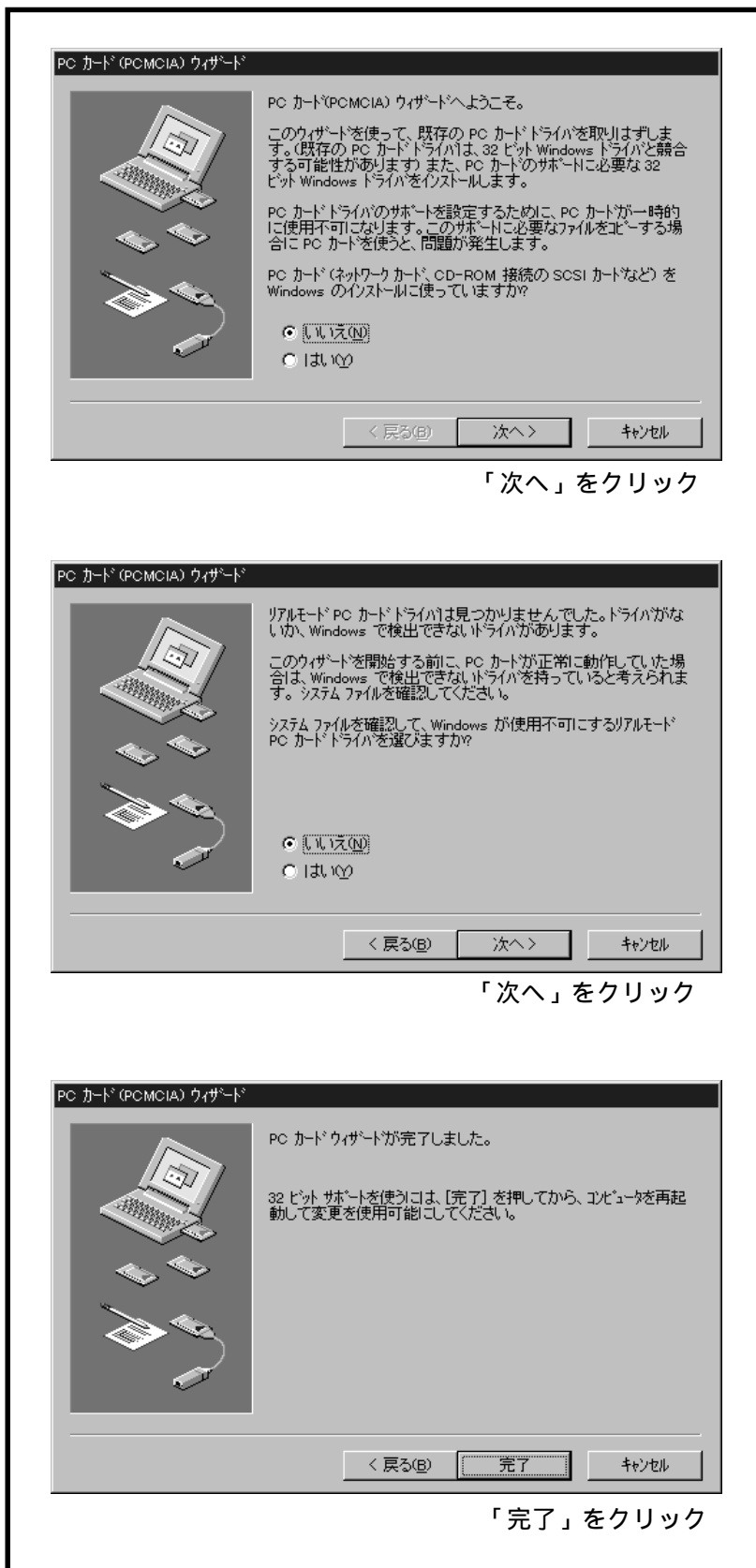


図8 Ricoh RL/RB5C478 CardBus Controller のプロパティ

下記図9のような「PCカードウィザード」が起動しましたら、そのまま「次へ」をクリックします。次の質問にもそのまま「次へ」をクリックします。

3つ目の画面で「PCカードウィザードが終了しました」と表示されますので「完了」をクリックします。

図9 PCカードウィザード画面



「次へ」をクリック

「次へ」をクリック

「完了」をクリック

下記図10のメッセージが表示されたら「いいえ」を選択し、デバイスマネージャー画面に戻ります。



図 10 Windows 終了確認画面

6 ページ図7の状態に戻りますので、続けてもう1方の「Ricoh RL/RB5C478 CardBus Controller」をダブルクリックし、同様に作業を進め、同じように上記図10の画面が出たら、今度は「はい」を選択し、Windowsを終了すれば、インストール作業は完了です。次にパソコンを起動した時点より、REX-CBS51が使用可能となります。